

## 事業成果報告書

### 〔取組Ⅰ〕 都道府県教育委員会による小中一貫教育推進に関する取組

1. 都道府県教育委員会名 : 富山県教育委員会
2. 取組の名称 : 富山県小中一貫教育研究事業

#### 3. 事業の実績

##### (1) 事業のねらい

本県における小中一貫教育を推進するため、協力市町村を指定し、調査検討委員会の開催、学校訪問等により当該教育委員会への指導、助言及び支援を行う。

具体的には、小中一貫教育推進ポリシーの策定や事例集等の作成・配布により、本県の方針を示し、当該教育委員会が主体性をもってモデル校を中心に据えた事業を推進していく。更に、研究発表会、実践発表会等を開催することにより、研究事業の成果を県内すべての市町村に広め、本県における小中一貫教育の推進を図る。

##### (2) 事業の実施状況

県教育委員会においては、小中一貫教育先進県（市）の視察、本県における小中一貫教育推進ポリシー案の検討及び県内の市町村教育委員会を対象に小中一貫教育についてアンケート調査を行った。

協力地域においては、小中学校において、合同研修会、乗り入れ授業、合同活動等の取組が行われた。

##### (3) 事業の成果

○小中一貫教育先進県（市）の視察や全国フォーラムへの参加により、取組の成果や課題について知見を得た。

○視察等により得られた知見を基に、本県における小中一貫教育推進ポリシー案を作成した。

○全国の優れた取組や9年間の系統性のあるカリキュラムの例、小中一貫教育の制度化について、小中一貫教育の実施を検討している市町村教育委員会へ紹介し、取組を支援することができた。

○市町村教育委員会対象のアンケート調査により、県内における小中一貫教育の現状と課題等について、把握することができた。

○モデル校における実践と、アンケート結果の分析により、取組の成果と課題が明らかになった。

##### (4) 今後の取組予定

- ・富山県小中一貫教育調査検討委員会の開催
- ・小中一貫教育推進ポリシーの策定
- ・小中一貫教育リーフレット、事例集の作成
- ・小中一貫教育の質の向上のための効果的な研修プログラムの作成
- ・小中一貫教育に関する研修会の開催
- ・富山県小中一貫教育実践発表会の開催

#### 4. 取組 I の実績

##### (1) 取組のねらい

県内の各市町村において、小中一貫教育の導入が拡充するよう資料等を作成し、普及・啓発を図るとともに、取組を支援する。
---

##### (2) 取組 I の実施状況（平成28年度）

4月	・県小中一貫教育研究事業の立案
5月	・県小中一貫教育研究事業の立案、推進体制整備
6月	・国と県との委託契約締結 ・県と協力市町村との委託契約締結
7月	
8月	・協力市町村教育委員会及びモデル校の訪問指導
9月	・先進県（市）、実践校視察 （推進のための組織作り、9年間を見通したカリキュラムの編成）
10月	・先進市（東京都三鷹市）視察 （推進のための組織づくり、学校への支援策、研修プログラム、9年間を見通したカリキュラムの編成、取組の成果と課題） ・小中一貫教育全国フォーラム参加 （施設一体型、施設隣接型、施設分離型における取組と成果と課題）
11月	・先進校（広島県呉市）視察 （施設分離型小中一貫校における取組、成果と課題）
12月	・小中一貫教育推進ポリシー案の作成 ・小中一貫教育に係るアンケートの作成
1月	・先進県（埼玉県、神奈川県）視察 （推進ポリシー、研修プログラム、採用・異動方針、県が実施している支援策） ・モデル校訪問指導
2月	・小中一貫教育に係るアンケートの実施、集計 （小中一貫教育実施の意向、小中連携・小中一貫教育の成果と課題） ・指導主事等研修会における小中一貫教育制度化の周知 ・協力市町村教育委員会指導
3月	・今年度の成果と課題のまとめ

(3) 取組の成果

- ・小中一貫教育推進ポリシー案の作成
- ・小中一貫教育を検討している市町村教育委員会への情報提供及び取組の支援
- ・県内における小中一貫教育の現状と課題等の把握
- ・指導主事等への小中一貫教育制度化の周知

(4) 今後の取組予定

- ・小中一貫教育推進ポリシーの策定
- ・小中一貫教育推進リーフレット、事例集の作成
- ・小中一貫教育の質の向上のための効果的な研修プログラムの作成
- ・小中一貫教育に関する研修会の開催
- ・富山県小中一貫教育実践発表会の開催

5. [取組Ⅱ] を実施した協力市町村教育委員会等

通し番号	教育委員会等の名称	
Ⅱ-1	舟橋村教育委員会	

## 事業成果報告書

### [取組Ⅱ] 市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ - 1

1. 市町村教育委員会等の名称 : 舟橋村教育委員会

住所 : 富山県中新川郡  
舟橋村佛生寺55番地  
代表者職・氏名 : 教育長 高野 壽信

2. 取組の名称 : 舟橋村小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

舟橋村で育ったことに自信と誇りを持ち、心身ともに健康でたくましい心豊かな子供の育成を図るため、小学校1校、中学校1校の地域性を生かし、これまで取り組んできた小中学校の交流・連携を推進し、小中一貫教育を推進する。  
具体的には、目指す子供像や研究主題を小中学校で共有し、9年間を見通した一貫した系統的・連続性のある教育の在り方の検討、確かな学力の育成を推進する。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

4月	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童生徒の課題の確認・目標の設定 (全国学力・学習状況調査や教職員アンケート結果より)</li><li>・小中一貫教育推進委員会の開催 (取組の具体的な内容や方向性について)</li><li>・目指す子供像や研修主題の共有 (児童生徒の課題を踏まえて)</li><li>・小学6年生における教科担任制の実施：年間（国語[書写]、理科、音楽、家庭、音楽、図工、体育）</li><li>・乗り入れ授業の実施：年間（英語：中学校教員→小学校5・6年、週1回）</li></ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"><li>・小中一貫教育推進委員会打合せ会の実施</li></ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"><li>・交流活動の実施（中学生→小学生：ノーメディアに関する出前PR：朝の集会）</li><li>・生活に関するアンケート (家庭学習及びゲーム、スマホ等の使用状況把握)</li></ul>
7月	
8月	<ul style="list-style-type: none"><li>・小中学校合同研修会の実施</li><li>・カリキュラムの試案の作成 (9年間を見通したカリキュラムの試案)</li><li>・部活動体験（小学校6年）</li><li>・小中一貫教育講演会の開催（講師：文部科学省初等中等教育企画課 鞠子雄志氏）</li></ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"><li>・小中一貫教育推進委員会の開催</li></ul>

10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなでチャレンジ・ノーメディアデー」の実施（家庭学習の定着）</li> <li>・乗り入れ授業の実施（音楽：小学校教員→中学校・2回）</li> <li>・先進地視察（岐阜県白川村）</li> <li>・小中一貫教育推進協議会を開催（計画について）</li> <li>・小中一貫教育全国フォーラム参加（東京都武蔵村山市）</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流活動の実施（中学生→小学生：ノーメディアに関する出前PR：朝の集会）</li> <li>・合同授業[総合的な学習]「平和について考える」の実施（中学3年・小学6年）</li> <li>・先進地視察（大阪府柏原市）</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなでチャレンジ・ノーメディアデー」の実施（家庭学習の定着）</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流活動の実施（中学1年⇔小学6年：メッセージ交流[新入生説明会の案内状・回答⇔感想・質問]</li> <li>・生活に関するアンケート（家庭学習及びゲーム・スマホ等の使用状況把握）</li> <li>・地域学校保健委員会の開催（ノーメディアについて・小学5年と中学2年の交流活動）</li> <li>・小中一貫教育推進委員会の開催</li> <li>・乗り入れ授業の実施（体育：中学校教員→小学校5、6年・1回）</li> <li>・合同授業[英語]「ゲームによるコミュニケーション活動」（中学校新入生説明会時・中学1年、小学6年）</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50分授業の実施（小学5、6年：3日間）</li> <li>・乗り入れ授業の実施（体育：中学校教員→小学校5、6年・1回）</li> <li>・「ふなはし『学び合い』スタイル」の作成</li> <li>・本年度の取組についての評価・検証（全教職員、児童生徒、保護者へのアンケート）</li> <li>・小中一貫教育推進協議会の開催（次年度以降の取組や計画について）</li> </ul>

### (3) 取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す子供像や研究主題を小中学校が共有することで、全教職員が明確な方向性を持つことができた。「ふなはし『学び合い』スタイル」の作成。</li> <li>・国語科の言語活動や道徳、総合的な学習の時間、キャリア教育、英語教育、ICTを使った学習等で、今後9年間を見通したカリキュラムの試案の作成。</li> <li>・児童生徒の表現力（言語活動）、思考力、判断力の向上が図られた。（全国学力・学習状況調査や富山県小学校教育研究会、富山県中学校教育研究会が実施する学力調査等で検証）</li> <li>・家庭学習の実施率が向上した。（全国学力・学習状況調査や校内で実施する生活に関する実態調査等で検証）</li> <li>・小中一貫教育に関するアンケートより、小中1校ずつであることから、中1ギャップはほとんど無いだろうと考えられていたが、中学生になる不安は十分にあると感じられた。児童・生徒・保護者に各活動がおおむね好意的に受け止められていた。</li> </ul>
---

### (4) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す子供像や研究主題を小中学校が共有し、小中合同の研修会を開催するなど継続した指導を実施する。（「ふなはし『学び合い』スタイルの確立」）</li> <li>・国語科の言語活動や道徳、総合的な学習の時間、キャリア教育、英語教育、ICTを使った学習などにおいて9年間を通して教科横断し体系的に指導するカリキュラム開発を行う。</li> <li>・乗り入れ授業など小中学校の教職員の交流を積極的にし、継続した学習指導・生徒指導を行う。</li> <li>・総合的な学習の時間の成果発表や児童・生徒会、地域保健委員会等での中学生と小学校高学年の児童との交流活動を推進する。（読書活動の推進・午後9時以降ノーメディア）</li> </ul>
--